

ヤマハ アルカピュアⅢ

OH-A22Y

取扱説明書

このたびは、ヤマハ アルカピュアⅢ「OH-A22Y」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前には、必ずこの取扱説明書と保証書をお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと、常にお読みいただけるように、身近に保管してください。
- 保証書は必ず「販売店名、購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りいただき大切に保管してください。
- ご使用いただいているお客様が変わられる場合は、取扱説明書と保証書を確実にお渡しください。
- この商品は、家庭での使用を基準にしたものです。業務用でのご使用は避けてください。

※本品は医療機器ではありません。



保証書別添付

保証書は、必ずお買上日、製造番号、販売店名等の記入をご確認の上、お受け取りください。

また、お客様登録カードは必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。

も く じ

	ページ
1. 安全のために必ずお守りください	
●警告表示と注意表示について	2
●ご使用時は必ずお守りください	2
●ご使用の前に確認をしてください	3
●ご使用になる前の注意	4
●ご使用時の注意	4・5
2. 各部のなまえとはたらき	6～8
●専用水栓の操作部 ランプボタンの動作説明	7
●浄水カートリッジのはたらき	8
3. ご使用になる前に	
●料理用水・飲用水・浄水・酸性水の利用方法	8
●初めてご使用になるときの準備	9～11
4. ご使用方法	
●料理用水・飲用水・浄水の使用法	11・12
●酸性水使用方法	13
●自動洗浄について	14
●電解部保護について（連続可能使用時間）	15・16
●停電のときには	17
●電解イオン濃度（pH値）の測定について	18・19
●pH測定液の手配のしかた	19
●浄水カートリッジの交換時期	20
●浄水カートリッジの入手方法	21
●浄水カートリッジの交換手順	21～24
5. 異常作動への対応	25
6. 浄水機能を維持するために	26
7. お手入れ方法	27
8. 故障かなと思ったら	28～30
9. 保証とアフターサービス	31・32
10. 廃棄処分される場合のお願い	32
11. 主な仕様	33
12. お客様相談窓口	裏表紙

※本文で使用の部品名称は、6ページの「各部のなまえとはたらき」をご参照ください。

安全のために必ずお守りください

警告表示と注意表示について

この取扱説明書記載の警告事項 **警告**、**注意** の区別について



取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負う可能性がある危険な状態が想定される内容を示します。



取り扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

その他お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し説明しています。




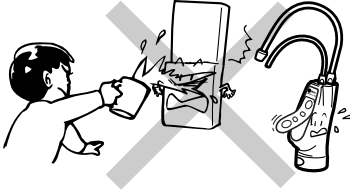





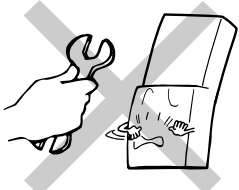
⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。



Ⓢ 記号は強制（必ず実行してほしい）したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な行為が描かれています。












※いずれの場合も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

ご使用時は必ずお守りください。

図記号		警告
 禁止		電解槽および浮きや剥れの生じた専用 水栓の操作部には、水をかけない。 感電・ショートのおそれがあります。 専用水栓の操作部に浮きや剥れが生じた場合は、お買い求めの販売店または弊社まで連絡し、修理してください。
 禁止		専用水栓や電解槽、浄水カートリッジ に衝撃を与えない。 水漏れや破損による感電・ショートのおそれがあります。
 接触禁止		濡れた手で電源プラグに触らない。 感電のおそれがあります。
 分解禁止		絶対に分解したり、修理・改造はしな い。 感電・火災の原因となるおそれがあります。

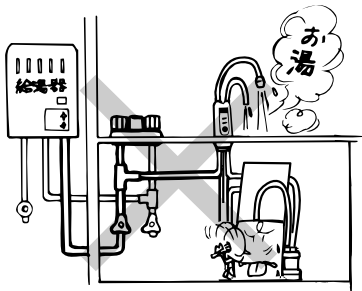
安全のために必ずお守りください

ご使用の前に確認をしてください。








図記号	⚠ 警告	
 禁止		<p>上水道以外の水には使用しない。</p> <p>水中に溶け込んでいる溶解性鉛以外の金属イオンやウィルス等は浄化できませんので、体調を損なうおそれがあります。</p> <p>井戸水は除去出来ない不純物混入のおそれがありますので、使用しないでください。</p>
図記号	⚠ 注意	
 禁止		<p>酸性水・pH10以上のアルカリ性の水・吐水直後の水・ペーパーチェッカーの入った水は飲まないでください。</p> <p>体調を損なうおそれがあります。</p> <p>※詳しくはアルカリ性の水・酸性水・浄水の使用方法を参照ください。(8ページ)</p>
 禁止		<p>ピーピーピー…という警告音が鳴っている間の水は、飲用しないでください。</p> <p>警告音が鳴っている間は電極洗浄水や酸性水およびこれらの水とアルカリ性の水や浄水が混じた水の為、飲用すると体調を損なうおそれがあります。</p>
 禁止	<p>無酸症の方や病気治療中の方は飲用しないでください。</p>	
 禁止	<p>医薬品をアルカリ性の水で服用しないでください。</p>	
 必ずお守りください	<p>アルカリ性の水を飲用して身体に異常を感じたときは、医師または薬剤師に相談してください。</p>	
 必ずお守りください	<p>次の方は酸性水を使用する前に医師または薬剤師に相談してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●肌の弱い方。 ●アレルギー体質の方。 	
 必ずお守りください	<p>酸性水を使用して肌に異常を感じたときは、速やかに使用を中止して医師に相談してください。</p>	

安全のために必ずお守りください

ご使用になる前の注意




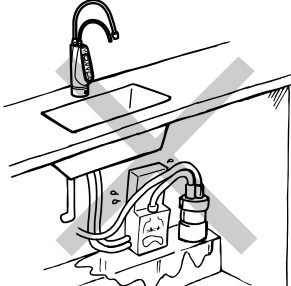

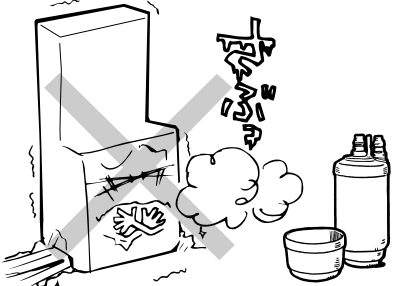

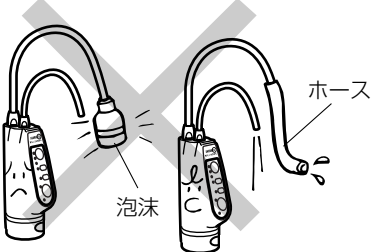

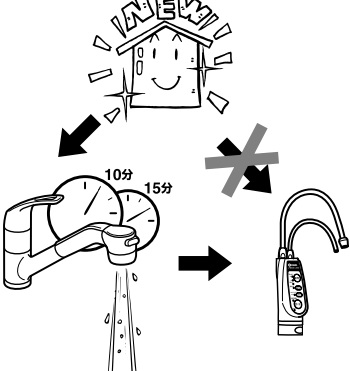
図記号	⚠ 注意
 <p>禁止</p>	 <p>専用水栓に、ガス湯沸かし器など他の機器を接続しないでください。 指定された以外の機器を接続すると、故障や破損の原因になります。</p> <p>お湯は通さないでください。 本機に不具合が生じたり、浄水機能を壊すおそれがあります。</p>

ご使用時の注意

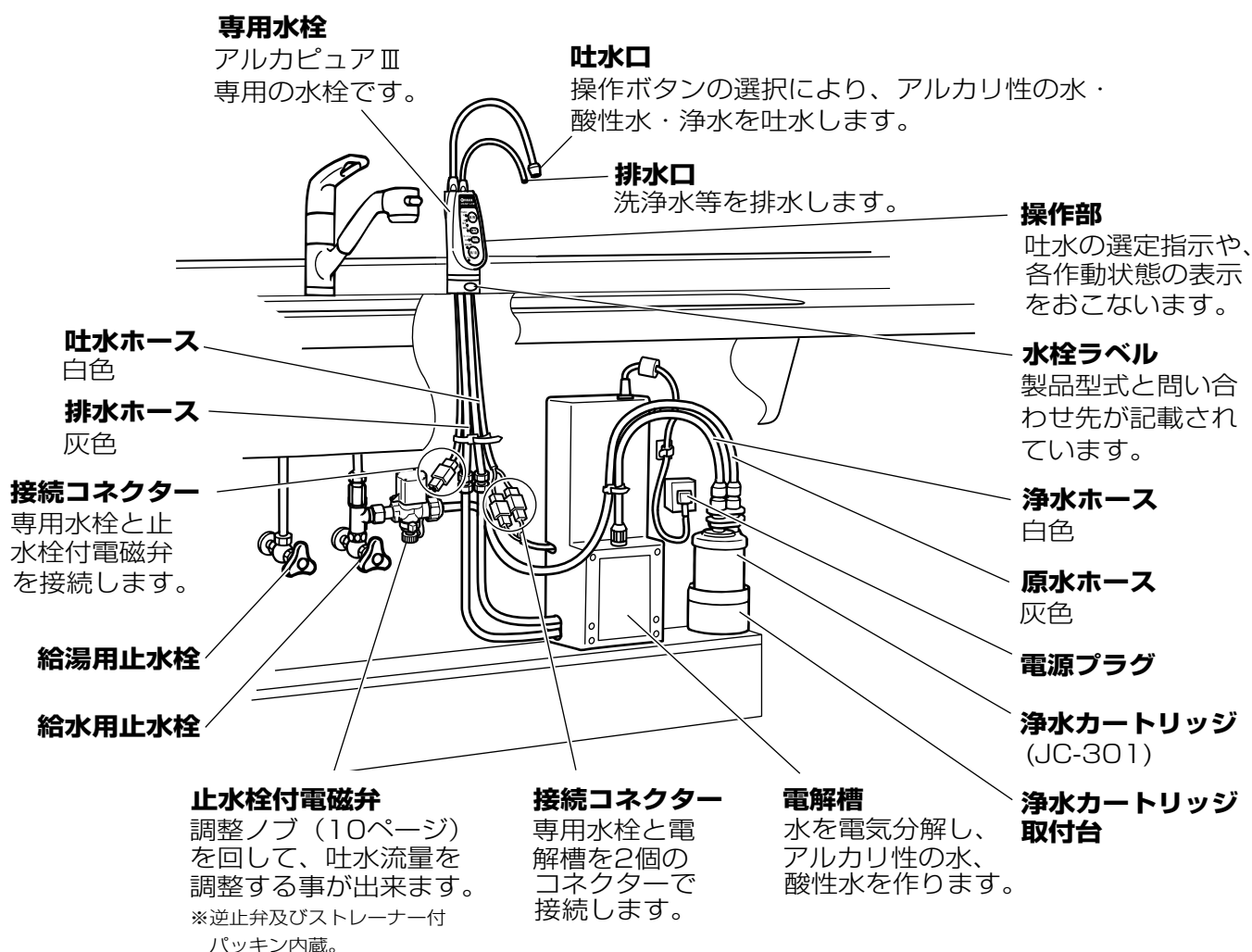
図記号	⚠ 注意
 <p>必ずお守りください</p>	<p>使い始めは、必ず水を放流してから使ってください。 内部にたまった古い水を排出するためです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎日、最初は30秒以上、水を放流してからお使いください。 ● 2日間以上お使いにならなかったときは、酸性水を5分以上放流してからお使いください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>毎日の使い始め</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2日間以上お使いにならなかったとき</p> </div> </div>
 <p>禁止</p>	<p>熱いフライパンやヤカン等を近づけないでください。</p> <p>流し台の下にある電解槽・浄水カートリッジやホースに熱いフライパンやヤカン等を近づけると、熱による変形や故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>水のくみおきをしないでください。</p> <p>浄化された水は、塩素を除去しているため一般細菌が繁殖しやすくなりますので、なるべく早くお使いください。</p>
 <p>必ずお守りください</p>	<p>浄水カートリッジは、1年以内で交換してください。 (詳しくは、20ページを参照してください。)</p> 

安全のために必ずお守りください

ご使用時の注意

図記号	⚠ 注意
 <p>禁止</p>	 <p>養魚用には、使用しないでください。 アルカリや酸性が強すぎたり、遊離残留塩素除去が不十分のとき、魚が死ぬおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p>	 <p>水漏れした状態のまま使用しないでください。 キッチンや家屋が損傷するおそれがあります。配管部品、電解槽、浄水器、水栓の各接続部からの水漏れがありましたら、止水栓付電磁弁の調整ノブまたは給水用止水栓（6・9・10ページイラスト参照）を時計方向に回して閉め、お近くの販売店か弊社お客様相談窓口へご連絡ください。</p>
 <p>禁止</p>	 <p>凍結させないでください。 凍結により故障するだけでなく、水漏れによりキッチンや家屋が損傷します。凍結のおそれがある場合は、カートリッジを取り外したり、保温など凍結防止の工夫をしてください。</p>
 <p>禁止</p>	 <p>専用水栓の吐水口をふさがないでください。 吐水口に泡沫を取り付けたり、ホースを取り付けると、本体より水漏れするおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p>	 <p>新築や、水道管改修作業を伴うリフォーム、および近くでの水道工事直後は使用しないでください。 配管工事時のゴミや油、接着剤成分が浄水カートリッジ寿命を低下させます。工事直後は混合水栓側の蛇口で、臭いや汚れが十分無くなるまで通水した後お使いください。</p>

各部のなまえとはたらき



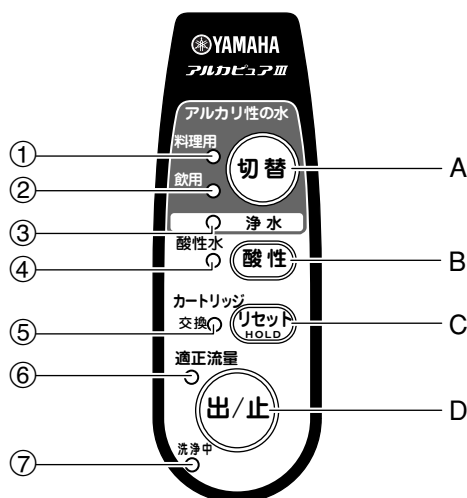
- 「吐水」・・・吐水口から出るアルカリ性の水・酸性水・浄水をいいます。
但し、警告音がピーピー…と鳴り「洗浄中ランプ」が点滅している時は、電極洗浄水が吐水されます。
- 「排水」・・・排水口から出る電極洗浄水や、アルカリ性の水・酸性水・浄水と電極洗浄水が混ざりあった水等をいいます。
(浄水を選択した場合は、排水口からも浄水が出ます。)
- 「アルカリ性の水」・・・浄水を電気分解して生成するアルカリ性の水をいいます。
- 「酸性水」・・・浄水を電気分解して生成する酸性の水をいいます。
- 「浄水」・・・浄水カートリッジで浄化した水をいいます。
- 「洗浄水」・・・電解槽内の電極を自動洗浄した水をいいます。

pH (ペーハー) とは・・・

- 水素イオン濃度を表わすものです。pH7より上をアルカリ性、pH7を中性、pH7未満を酸性といいます。
- 原水の水質によりpHは異なります。
もともと酸性の水質の場合はアルカリを選択してもアルカリ性を示さない水が出る場合もあります。
雨が降ると原水水質が変化して水の電気伝導度も変わる為、電気分解により生成しているアルカリ性の水や酸性水のpHも変化します。
原水に遊離炭酸が多く含まれる地下水等を水源とした水道水の場合、pH測定液で測ってもアルカリ性を示さない場合があります。
- 吐水直後の水は、アルカリ性を示さない場合があります。
10秒以上放流した後に電気分解が安定して、原水水質に見合ったアルカリ性を示す様になります。

各部のなまえとはたらき

専用水栓の操作部 ランプ・ボタンの動作説明



A. 切替ボタン……………飲用→料理用→浄水への切り換えを順次おこないます。
ボタンを押して“料理用”“飲用”や“浄水”に切り換えた時、ピッと1回音が鳴ります。

- ①料理用ランプ……………料理に適したアルカリ性の水が出ます。
(オレンジ色) ※“飲用”よりも高いpHの水が出ます。
- ②飲用ランプ……………飲用に適したアルカリ性の水が出ます。
(緑色)
- ③浄水ランプ……………飲用に適した浄水が出ます。
(緑色)

B. 酸性ボタン……………酸性水への切り換えをおこないます。
ボタンを押して酸性水に切り換えた時、ピッと1回受付音が鳴ります。

- ④酸性水ランプ……………酸性水が選択されている時に点灯し、使用中および使用後の排水中に点滅します。
(赤色)
酸性水使用中は飲用に適さない為の警告音が、ピーピーピー…と鳴り続けます。また、酸性水使用後の最初の料理用水や飲用水吐水時に、配管内の酸性水を排水する為に警告音が、ピーピーピー…と約9秒間鳴り続けます。

C. リセットボタン……………カートリッジを交換したときに、カートリッジ交換ランプをリセットし消灯させます。
1秒間押し続けるとピッと1回受付音が鳴り、リセットされます。

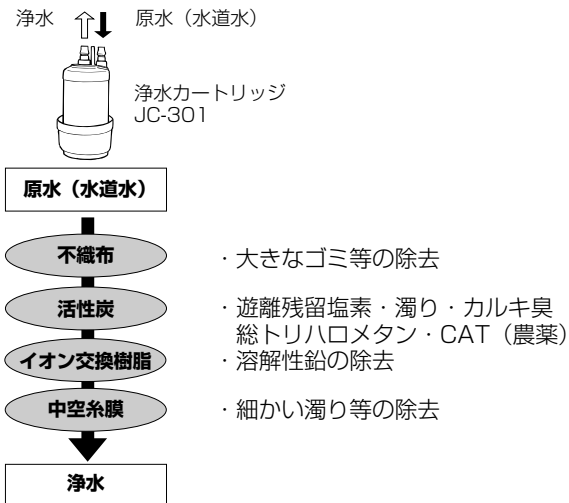
- ⑤カートリッジ交換ランプ…吐水初めに2秒間点灯し、ピッピッと2回音が鳴る場合：
(赤色) 使用水量の規定値に近づいたか、11ヶ月が経過し、交換間近のお知らせです。常にランプが点灯し、吐水初めにピッピッピッと3回音が鳴る場合：
使用水量を超えたか12ヶ月が経過し、カートリッジ交換時期のお知らせです。

D. 出/止ボタン……………ボタンを押して、水を出したり止めたりします。
水を出す時にピッと1回、止める時にピッピッと2回受付音が鳴ります。

- ⑥適正流量ランプ……………適切な流量範囲で使用中に点灯します。
(緑色) 流量が多すぎたり少なすぎたりすると、点滅したり消灯して電気分解が正しく行われていない事をお知らせしますので、流量調整(10ページ参照)が必要です。
- ⑦洗浄中ランプ……………電極洗浄中は点灯し、洗浄後の水を排水中に点滅します。
(赤色) 電極洗浄後の最初の吐水時に、洗浄水を排出する為に警告音が、ピーピーピー…と約9秒間鳴り続けます。

各部のなまえとはたらき

《浄水カートリッジのはたらき》



浄水カートリッジのはたらき

第一ろ過層 (不織布)+第二ろ過層 (活性炭、イオン交換樹脂)+第三ろ過層 (中空糸膜) の3重フィルターできれいなおいしい水をつくります。

※不織布…大きなゴミを取り除きます。

※活性炭…遊離残留塩素や総トリハロメタン、CAT (農薬)、濁り、カルキ臭を取り除きます。

※イオン交換樹脂…溶解性鉛を取り除きます。

※中空糸膜…0.1ミクロン (1/10,000ミリ) 以上の細かい濁り等を取り除きます。

ご使用になる前に

料理用水・飲用水・浄水・酸性水の利用方法

①料理用水 (アルカリ性の水 pH8.0~9.2)

ものを柔らかくする作用があり、ご飯のたき水、みそ汁、スープ等、また煮たきの水としてもご利用ください。

②飲用水 (アルカリ性の水 pH7.5~8.5)

臭いがなく、のどごしがまろやかで、そのまま飲んでもおいしくご利用になれます。

お茶、コーヒー、紅茶、ウイスキー、焼酎などにもご利用ください。

③浄水 (飲用水)

薬や粉ミルク等を使用する場合には、浄水のご利用をおすすめします。

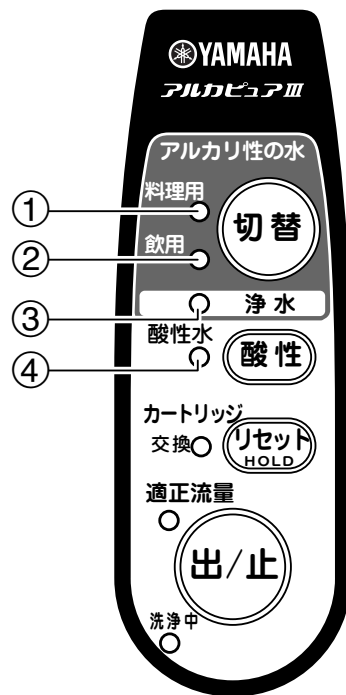
④酸性水

● 洗い水として

洗顔にご利用いただけます。

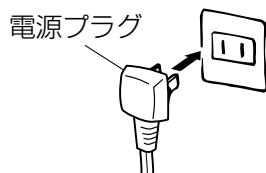
その他野菜洗い等、洗い水としてもご利用ください。

※アルカリ性の水・酸性水も浄水器で浄化した水を電気分解してできた水です。



ご使用になる前に

初めてご使用になるときの準備



電気の接続

電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 警告



濡れた手で電源プラグに触らない。

感電のおそれがあります。



電源プラグにはほこりが付着していないか確認し、刃の根元までしっかり差し込む。

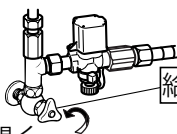
ほこりが付着していたり、コンセントへの接続が不十分な場合は、感電や火災の原因となります。



① 止水確認

混合水栓から水を放流し、配管内のゴミや油および接着剤成分を出します。

① 専用水栓が止水状態である事を確認します。



② 開く

② 給水用止水栓のツマミを反時計方向に回して開けます。

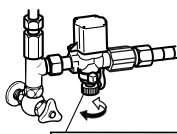
混合水栓レバー

③ 開く ④ 閉じる



③ 混合水栓のレバーを上げて開き、水道水を放流します。

④ 汚れや油の臭い等が無くなったことを確認した後、混合水栓のレバーを閉めます。

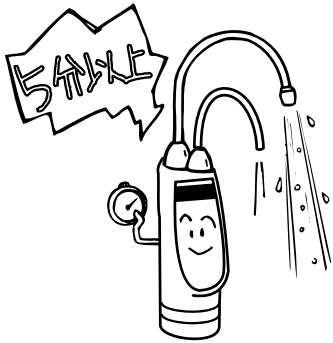


止水栓付電磁弁調整ノブ

止水栓付電磁弁の調整ノブで流量を調整する事が出来ます。

時計方向に回すと流量が少なくなり、反時計方向に回すと流量を多くする事が出来ます。

ご使用になる前に

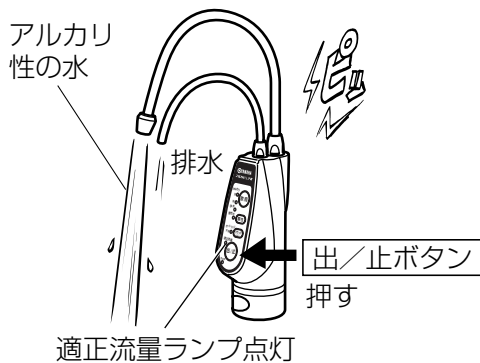


浄水カートリッジ電解槽内の空気抜きを してください。

操作部の「出/止ボタン」を押し、「浄水」を連続して5分間以上放流します。

内部にたまった空気を抜くために、水の中の大きな気泡が消えるまで水を放流してください。

内部に空気が残っていると水のきれが悪くなります。故障ではありません。

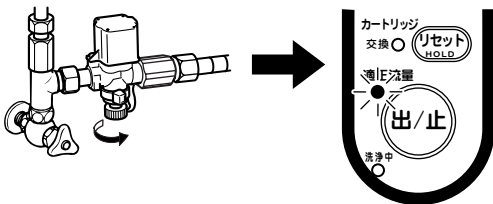


適正流量が出ている事を、“飲用”か“料理用”の吐水状態で確認してください。

「出/止ボタン」を押して、アルカリ性の水を吐水します。この時「適正流量ランプ」が点灯していれば、適正な量が吐水口より出ています。

「適正流量ランプ」が点灯しない場合。

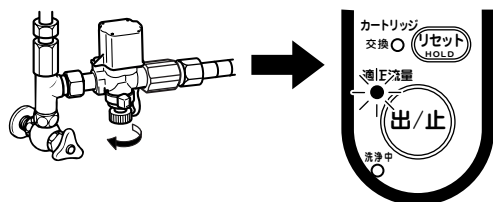
①ランプがつくまでゆっくり絞る



①流量が多すぎる場合は点灯しません。

止水栓付電磁弁の調整ノブをゆっくりと時計方向に回して流量を絞り、「適正流量ランプ」が点灯した位置でご使用ください。

②ランプがつくまでゆっくり開く



②流量が少なすぎる場合は点灯しません。

止水栓付電磁弁の調整ノブをゆっくりと反時計方向に回して流量を増やし、「適正流量ランプ」が点灯した位置でご使用ください。

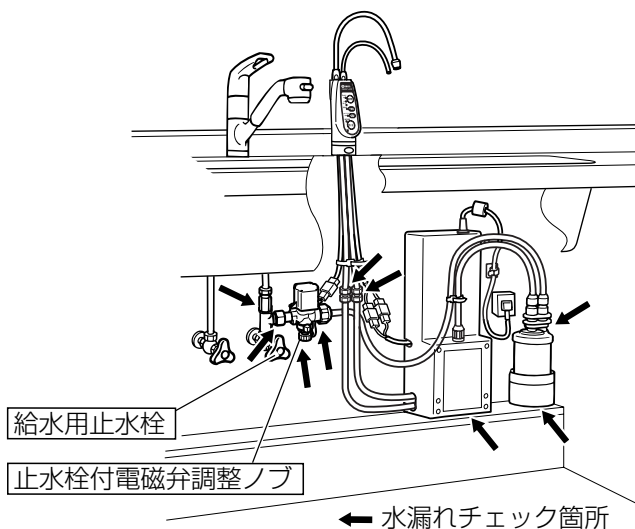
もし、増やしすぎてランプが消灯してしまう場合は、①の手順に従い、少し流量を絞り、ランプが点灯した位置でご使用ください。

※一部水圧の低い地域や高架タンク付マンション等の最上階では水圧不足により「適正流量ランプ」が点灯しない事があります。

水道工事店様へご相談ください。

止水中は、適正流量ランプが点灯しません。

ご使用になる前に



水漏れがないことを確認してください。

配管接続部の水漏れは、吐水中及び必ず吐水止水の操作を数回繰り返して確認ください。

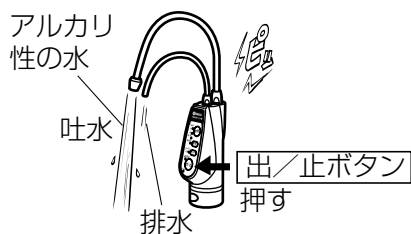
水漏れがありましたら、止水栓付電磁弁の調整ミゾを閉めるか給水用止水栓を閉めてから、施工店または弊社のお客様相談窓口へご連絡ください。

「出／止ボタン」を押して止水しても蛇口から水がしばらく出ますが、元止め式水栓構造による為で故障ではありません。

ご使用方法

料理用水・飲用水・浄水の使用法

■吐水方法



①「切替ボタン」を押してご使用される水を選択します。

●「切替ボタン」を押すたびに、ピッという音が鳴り、「飲用ランプ」→「料理用ランプ」→「浄水ランプ」と切り替えることができます。

②操作部の「出／止ボタン」を押し、水を出します。

●吐水時は最初にピッと1回お知らせ音が鳴ります。

※吐水口よりアルカリ性の水（料理・飲用）が出ている場合は、排水口より酸性水が出ます。

※吐水口より浄水が出ている場合は、排水口からも浄水が出ます。

■止水方法



操作部の「出／止ボタン」を押し、水を止めます。

●止水時は、最初にピッピッと2回お知らせ音が鳴ります。

ご使用方法

前頁より続く

料理用水・飲用水・浄水の使用法

⚠ 注意

ピーピーピー…という警告音が鳴っている間の水は使用しないでください。

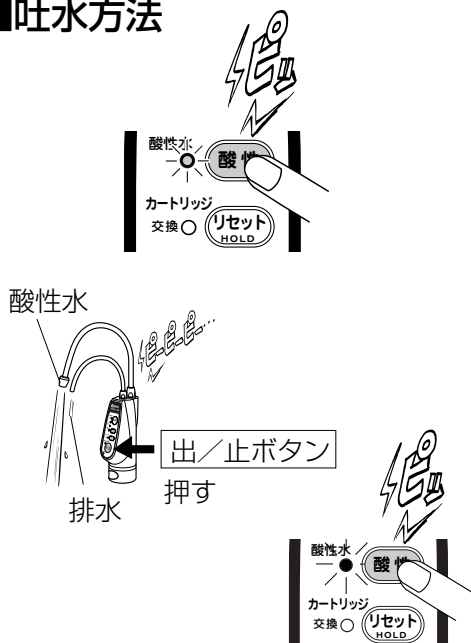


- ①酸性水を使った後に料理用水や飲用水を使おうとすると、水栓内に残った酸性水を排出する為にピーピーピー…という警告音が約9秒間鳴り、「酸性水ランプ」が点滅します。
- ②自動的に電極洗浄がおこなわれた後に使おうとすると、洗浄した水を排出中であるという警告音がピーピーピー…と約9秒間同様に鳴り、「洗浄中ランプ」が点滅します。
- ③警告音が鳴っている間の水は、酸性水や電極洗浄後の水とアルカリ性の水が混ざり合っているため、飲むと体調を損なうおそれがあります。

ご使用方法

酸性水使用方法

■吐水方法



①「酸性ボタン」を押します。

- 「酸性ボタン」を押すとピツという受付音が鳴り、「酸性水ランプ」が点灯します。

②操作部の「出/止ボタン」を押し、酸性水を出します。

- 酸性水を吐水時は、間違って飲用しない為に、ピーピー…という警告音が鳴り続け、「酸性水ランプ」が点滅します。
- 酸性水へ切り換え直後の約10秒間は、配管内の水が流れ出るため、十分な酸性水にならない場合があります。

※吐水口より酸性水が出ている場合は、排水口よりアルカリ性の水が出ますが、pH値が高くなる為飲用には適しません。

操作部の「出/止ボタン」を押し、酸性水を止めます。

- 止水時は、最初にピツピツと2回お知らせ音が鳴ります。

■止水方法



必ずお守りください

一度酸性水を止めると、次からの吐水は自動的にその前に使用していた“飲用”“料理用”“浄水”のいずれかに切り換わり、最初に配管内の酸性水を排水する為に警告音がピーピーピー…と約9秒間鳴り続けて「酸性水ランプ」が点滅します。

再度酸性水を使用したい場合は、「酸性ボタン」を押し直してから使用してください。

⚠ 注意

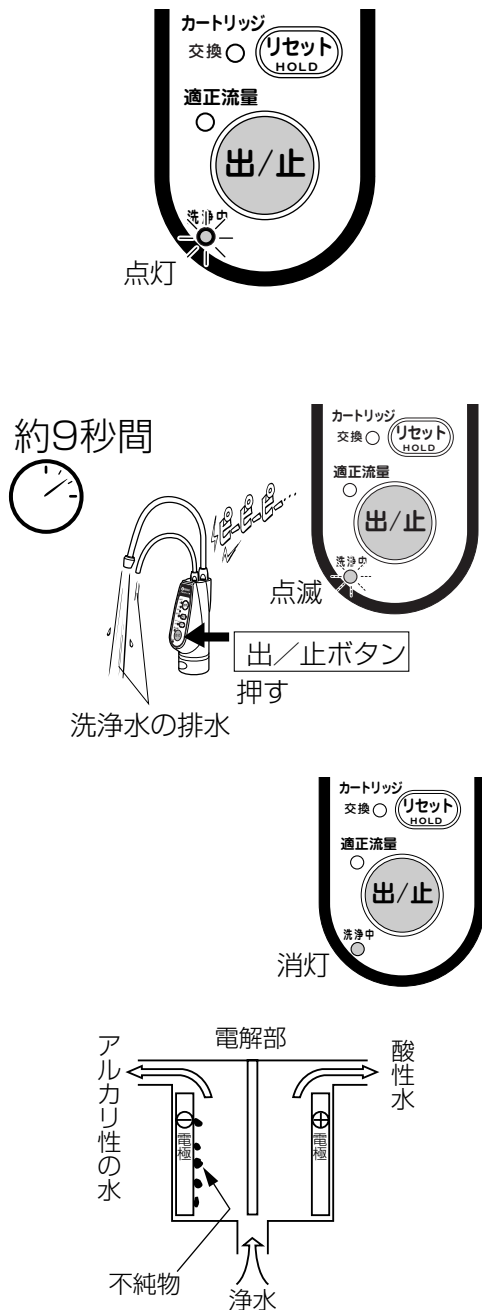


酸性水は飲まないでください。

体調を損なうおそれがあります。

ご使用方法

自動洗浄について



① 本機にはアルカリ性の水または酸性水を積算して約8分以上使用後、止水すると、自動的に「洗浄中ランプ」が点灯し、電解槽内部で洗浄が約1分間おこなわれる機構が付いています。

- 「洗浄中ランプ」が点灯中に通水しますと、洗浄は解除されピーピーピー…という警告音が約9秒間鳴り「洗浄中ランプ」が点滅に変わり、洗浄水を排水します。
- 警告音が鳴り止んだ後は操作ボタン通り使用できますが、止水すると再度「洗浄中ランプ」が点灯し、1分間の洗浄を再開します。

② 「洗浄中ランプ」が消灯して、自動洗浄が完了した後、アルカリ性の水や浄水を使おうとするとピーピーピー…という警告音が約9秒間鳴り「洗浄中ランプ」が点滅し、洗浄水を排水します。

③ 警告音が鳴り止み「洗浄中ランプ」が消灯したら、通常通り使用できます。

※ 洗浄とは。
電極に付着した不純物を自動的に除去し、性能を維持する事です。

⚠ 注意

ピーピーピー…という警告音が鳴っている間の水は飲用しないでください。

警告音が鳴っている間は洗浄後の水が、混ざり合っているため、飲用すると体調を損なうおそれがあります。

ご使用方法

電解部保護について（連続可能使用時間）

連続可能使用約8分

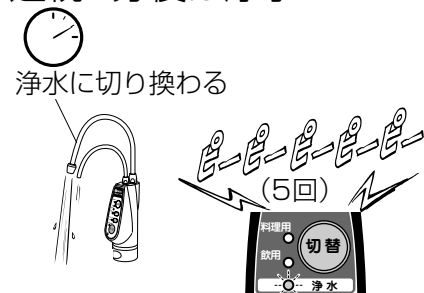
アルカリ性の水・酸性水



電解部保護の為、アルカリ性の水（料理用・飲用）や酸性水の連続可能使用時間は約8分です。

但し、水温や使用状況により8分以上使える場合があります。

連続8分後は浄水



① 約8分以上連続してアルカリ性の水や酸性水を使用したときは、電解部保護の為、ピーピーピーピーと5回警告音が鳴り、「浄水ランプ」が点滅して浄水を吐水します。

● 「浄水ランプ」が点滅中は自動的に浄水に切り換わり、「出/止ボタン」以外の他の操作ボタンを押しても受け付けなくなります。

止水し、5分以上待つ



② 警告音と共に「浄水ランプ」が点滅しましたら、5分以上お待ちください。

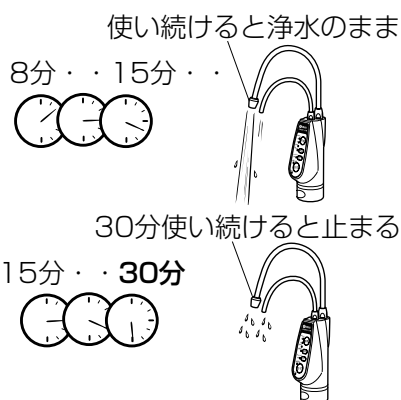
● 止水すると、点滅していた「浄水ランプ」は消灯し、それまで使っていた料理用・飲用・浄水または酸性側のランプが点灯します。

● 5分たかない内に「出/止ボタン」を押して通水しますと、指示内容は解除され、再度「浄水ランプ」が点滅して浄水が出ます。

③ 水栓を閉じてから5分たつと電解部保護は完了しますので、通常通り使用できます。



必ずお守りください



連続使用中に警告音が鳴り「浄水ランプ」が点滅したにもかかわらず、使い続けますと、浄水が出たままの状態になります。

このまま30分間使い続けたり、浄水を選択して連続30分間吐水し続けると、止水忘れ防止機能が働き、自動的に止水されます。

ご使用方法

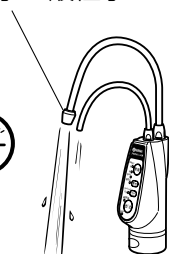
前頁より続く

電解部保護について（連続可能使用時間）

積算使用時間 約8分

アルカリ性の水・酸性水

合計約8分



アルカリ性の水・酸性水の使用時間に洗浄時間を加えた積算使用時間は約8分です。

但し、水温や使用状況により8分以上使える場合があります。

- 積算途中に5分以上の停止時間が入った場合は、今までの積算時間は解除されて0となり、次の使用から新しく積算を開始します。

積算途中で
5分以上停止



積算時間0に戻る



（洗浄途中で積算使用時間が8分になると洗浄を中止し、電解部保護の為、5分の休止に入ります。5分休止したら洗浄を自動的に再開します。）

※ 警告音やランプの表示および操作方法の詳細に関しては、連続使用時と同じですので、前ページの連続可能使用時間の説明をご参照ください。

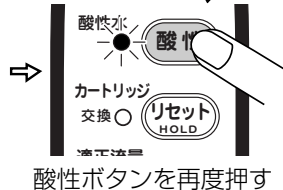


必ずお守りください

続けて酸性水使用



排水



酸性ボタンを再度押す

酸性水使用中に電解部保護の警告音が鳴り、止水して5分以上待った後、酸性水を続けて使用したい場合は、酸性ボタンを再度押し直してください。

酸性水使用中に一旦止水すると、次からは、その前に使用していた料理用、飲用または浄水に自動的に戻る機構になっています。

⚠ 注意

ピーピーピー…という警告音が鳴っている間の水は飲用しないでください。

警告音が鳴っている間は洗浄後の水が、混ざり合っている為、飲用すると体調を損なうおそれがあります。

ご使用方法

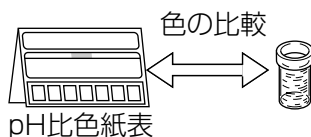
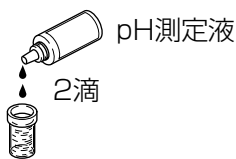
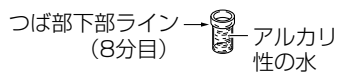
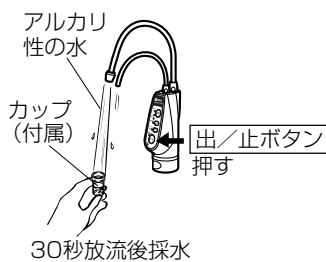
停電のときには

停電のときは機能が停止し、使用出来ません。

停電の時はすべての機能が停止して水も出なくなりますので、電気が回復するまでお待ちください。電気が回復すると、自動的に「飲用」の位置になりますので、使用したい水を選択した後、「出／止ボタン」を押し、吐水してからご使用ください。

ご使用方法

電解イオン濃度（pH値）の測定について



pH値の測定により、電解水がきちんと生成されているかを確認する事が出来ます。

但し、水質によっては見かけ上、目安のpH値に達しない場合や、値が大きく変化する場合があります。

- ①「切替ボタン」を押して「料理用ランプ」を点灯させます。
 - 「切替ボタン」を押すたびにピッという受付音が鳴り、「飲用ランプ」→「料理用ランプ」→「浄水ランプ」と切り換わり料理用を選択することが出来ます。
- ②操作部の「出/止ボタン」を押し、アルカリ性の水を約30秒間出した後、付属カップのつば部下側（8分目ぐらい）まで入れます。
※この時必ず「適正流量ランプ」が点灯している事を確認してください。
- ③pH測定液を2滴入れ、よくかき混ぜます。
- ④pH比色表との比較でpH値を測定します。
pH値測定の目安 飲用 約pH7.5～8.5
料理用 約pH8.0～9.0
酸性水 約pH5.0～6.9
pH値が目安と大きく掛け離れている場合は、30ページの“pH値が規定値にならない”を参照し対応してください。
- ⑤カップの水を捨て、洗浄します。
- ⑥使用後のpH試薬セットは大切に保管してください。

- 簡易測定の為、測定値はおおよその目安としてください。
- 長期保管により測定液の変化や比色表の変色が生じ、正しい値を示さない場合があります。
- 原水が若干酸性やアルカリ性の水、また遊離炭酸を含んだ水等では、見かけ上基準pH値に達しない場合があります。
- 原水水質は降雨や季節的影響で変化しますので、毎回同じpH値を示すとは限りません。

警告

pH測定液は「危険等級2水溶液」の為、pH値の測定以外には使用しない。

誤って飲んだりすると体調不良・健康障害の原因となるおそれがありますので、管理に注意してください。

誤って飲んだ場合： 水を多量に飲んでから、大至急内科の医師に相談してください。

誤って目に入れた場合： 目を十分水洗いしてから、大至急眼科の医師に相談してください。



酸性水や、pH値が10以上あるアルカリ性の水は飲用しない。

体調不良・健康障害の原因となるおそれがあります。

引火性がある為、火気には近づけない。

火災を起こすおそれがあります。

ご使用方法

前頁より続く

電解イオン濃度（pH値）の測定について

ご理解ください。

● 水質によりpH値が異なります。

- カルシウム・ナトリウム・マグネシウム等のミネラルの多い水は、アルカリ濃度が高くなります。
- もともと酸性にかたよった水は、アルカリ濃度が高くなりません。
- 逆にアルカリ性にかたよった水は、酸性水吐水時に酸性を示す水が出ない場合があります。
- 水道水の水質が遊離炭酸を多く含んでいる（地下水を水源としている場合など）ときは、アルカリ性を示さない場合があります。次の手順で確認作業をおこなってください。

- ① pH測定液をカップに2滴入れる。
- ② アルカリ性の水をカップに8分目ぐらい入れる。



【確認】

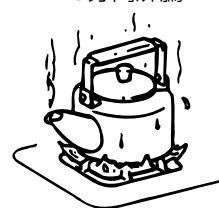
入れた瞬間に青または紺（アルカリ性8.0以上）になるが、すぐに緑や黄色になる。

（注）炭酸が影響して酸性に変化するためです。

炭酸を多く含んだ水道水でアルカリ性の水のpH値を調べるには

- ① アルカリ性の水をやかんなどに入れる。
- ② アルカリ性の水を入れたやかんを5分間沸騰させる。
（注）沸騰させると遊離炭酸が抜けます。
- ③ アルカリ性の水が冷めてから、pH値測定をしてください。

5分間沸騰



● 流量が多すぎるとアルカリ性の水や酸性水のpH値は高くなりません。

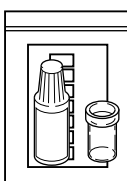
- 流量が4.5 l / 分以上では水量が多すぎるため、「適正流量ランプ」が消灯し、異常をお知らせします。止水栓付電磁弁の調整ノブ（10ページ参照）を時計方向にゆっくりと絞り「適正流量ランプ」が点灯する位置でご使用ください。

● 流量が少なすぎるとアルカリ性の水や酸性水がでません。

- 流量が1.2 l / 分以下では水量が少なくアルカリ性の水や酸性水のpH値が高くなりすぎてしまう為、安全上電解機能を停止して「適正流量ランプ」を消灯し、浄水を吐水させます。この場合は止水栓付電磁弁の調整ノブ（10ページ参照）を反時計方向にゆっくりと開き、「適正流量ランプ」が点灯する位置でご使用ください。

pH測定液の手配のしかた

下記品名と品番でご注文してください。



品名：pH測定セット 品番：XFD-5311B-00 定価 1,200円

注文先：ヤマハ発動機株式会社

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

フリーダイヤル ☎ 0120-32-0440

受付時間 9:00～17:00

（土・日等、弊社休業日を除く）

※ヤマハ発動機（株）は本機の製造元です。

ご使用方法

浄水カートリッジの交換時期



JC-301

1年に1回交換（毎日20ℓ使用時）

浄水カートリッジは1年以内で交換してください。

特に新築時は配管内のゴミや油により、交換時期が短くなることがあります。

（昭和59年厚生省通知衛水第63号で、「カートリッジの取換え時期はなるべく早めにする」と指導されており、また衛生性の見地からも、12か月以内が望ましいとされています。）

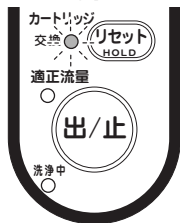
浄水能力は、1日20ℓを使用した場合最大1年です。

ただし、水質や使用量により交換時期が異なり、大幅に短くなることがあります。

使用初め



2秒間点灯



① 浄水カートリッジ交換時期近のお知らせ

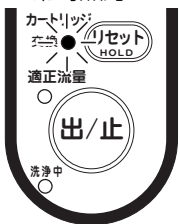
操作部の「カートリッジ交換ランプ」が毎回使用初めに2秒間点灯し、ピッピッと2回音が鳴ってお知らせします。

- この機能は、設置後あるいはリセットボタンを押してから約11ヶ月後か、使用水量が約7,000ℓに達すると作動します。
- 浄水カートリッジの交換間近ですので、新品を準備してください。

使用初め



常時点灯



② 浄水カートリッジ交換時期のお知らせ

操作部の「カートリッジ交換ランプ」が常時点灯し、毎回の使用初めにピッ、ピッ、ピッと3回音が鳴ってお知らせします。

- この機能は、設置後あるいはリセットボタンを押してから約1年後か、使用水量が約7,300ℓに達すると作動します。
- 浄水カートリッジの交換時期ですので、お早目に新品と交換してください。

「カートリッジ交換ランプ」が点灯する前でも、下記のような症状が発生した場合には、お早めに浄水カートリッジを新品と交換してください。



「出/止ボタン」を押して吐水したにもかかわらず、ほんの少ししか水が出なくなったら、浄水カートリッジを交換してください。

浄水カートリッジに、ゴミや汚れ等の不純物がつき目詰まりしています。



においや味がしてきたら、浄水カートリッジを交換してください。

浄水カートリッジの浄水能力が低下しています。



必ずお守りください

ご使用方法

浄水カートリッジの入手方法

浄水カートリッジの品番は、JC-301です。

- ① お買い上げの販売店、または弊社お客様相談窓口へお申し出ください。
- ② ヤマハ発動機（株）より、直送サービスも行っております。

注文先：ヤマハ発動機株式会社

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

フリーダイヤル ☎ 0120-32-0440

受付時間 9:00～17:00

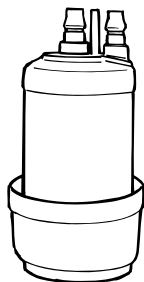
（土・日等、弊社休業日を除く）

ホームページ <http://www.yamaha-motor.co.jp/wp/>

FAX 0538-35-4792

※ヤマハ発動機（株）は本機の製造元です。

※本品に同梱された保証書に添付されている「お客様登録カード」でお客様登録をされますと、1年後の交換時期にヤマハ発動機（株）よりハガキでご案内致します。



交換浄水カートリッジ
(JC-301)

浄水カートリッジの交換手順



- 1 操作部の「出/止ボタン」を押し、水を止めます。

最初に「出/止ボタン」を押し水を止めてからカートリッジ交換作業をおこなってください。

⚠ 注意



浄水カートリッジ交換の際は、必ず「出/止ボタン」を押し、水を止めてからおこなってください。

水を止め忘れると、浄水カートリッジ交換時に浄水器本体より水がふきだします。

- 2 浄水カートリッジ本体の取り出し

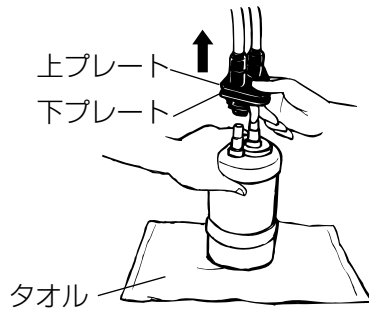
取付台より浄水カートリッジを取り出し、出来るだけキャビネットの手前に持ってきてください。



ご使用方法

前頁より続く

浄水カートリッジの交換手順

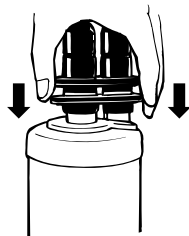


③ 浄水カートリッジの取り外し

浄水カートリッジをタオル等の上で押え、ワンタッチジョイントの「上プレート、下プレート」を指で強く挟み、そのままの状態を上へ引き上げてから浄水カートリッジを取り外してください。



必ずお守りください

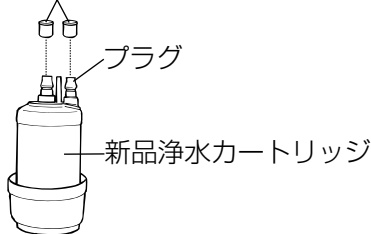


※外れない場合は一度強く押し込んでください。

取り外しの際、わずかに水がこぼれる場合がありますので、事前にタオル等を浄水カートリッジの下に置いてから、取り外してください。

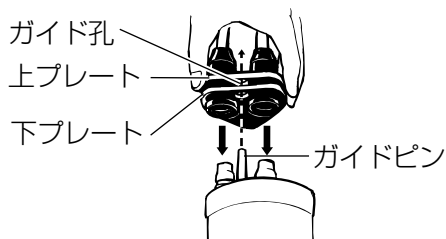
取り外しの際、ワンタッチジョイントが外れない場合があります。一度ワンタッチジョイントを押し込んでから、再度取り外してください。

保護キャップ



④ 保護キャップの取り外し

新しい浄水カートリッジの上端プラグに付いている保護キャップを取り外してください。(2ヶ)



⑤ 浄水カートリッジの装着

ワンタッチジョイントを浄水カートリッジにセットし、そのまま上から押し込んでください。

ワンタッチジョイントのプレートにあるガイド孔と浄水カートリッジのガイドピンおよびプラグに合わせて垂直に「カチッ」と音がするまでしっかり押し込んでください。

⚠ 注意

ワンタッチジョイントを確実に押し込んでください。

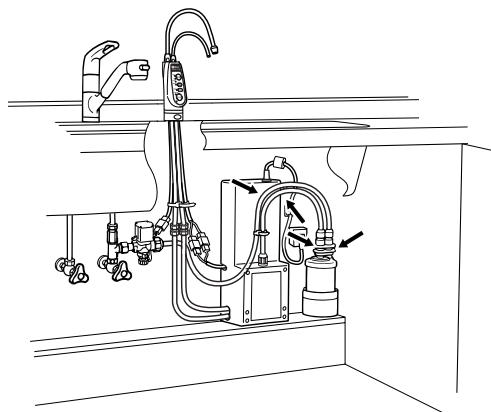
ワンタッチジョイントは、しっかり収まっていないと水漏れや、取り外しの際外れないことがあります。

ワンタッチジョイント部を持ち、浄水カートリッジを引っ張って外れないことを確認してください。

ご使用方法

前頁より続く

浄水カートリッジの交換手順



⑥ 浄水カートリッジの取り付け

浄水カートリッジを浄水カートリッジ取付台に、ホースが折れたり極端に曲がったりしないように注意して、戻してください。

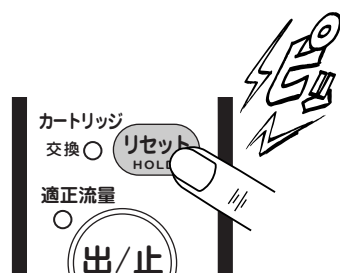
また、電源コードや接続コード等に引掛ったり絡んだりしない様に注意してください。



必ずお守りください

ホースの折れや極端な曲がりのないことを確認してください。

ホースが折れると、水が出なくなったり水量が少なくなったりします。



⑦ 「カートリッジ交換ランプ」のリセット

- ① リセットボタンを1秒以上押し続けます。
- ② 1秒後にピッという受付音が鳴ったら指を離してください。
- ③ 「カートリッジ交換ランプ」が点灯していたときにリセットをおこなった場合は、ランプの消灯も確認してください。



必ずお守りください

浄水カートリッジを新品と交換した後は、必ずリセットをおこなってください。

リセットをおこないませんと、毎回の使用初めにカートリッジ交換のためのお知らせ音が鳴り、カートリッジ交換ランプが点灯したままになります。

「カートリッジ交換ランプ」が点灯する前に浄水カートリッジを交換した場合も、リセットをおこなってください。

リセットをおこないませんと、交換前カートリッジのままと判断して「カートリッジ交換ランプ」の点灯やお知らせ音を鳴らしますので、新しく交換したカートリッジの寿命を短くお知らせすることになります。

浄水カートリッジを新品と交換するとき以外は、リセットボタンを押さないでください。

浄水カートリッジを交換しないのにリセットボタンを押すと、その時点からの使用時間と使用量をカウントする事になり、正しいカートリッジ交換時期が来ても、お知らせ音やカートリッジ交換ランプが点灯しなくなります。

ご使用方法

前頁より続く

浄水カートリッジの交換手順



⑧ 浄水カートリッジ・電解槽内の空気抜き。

「出／止ボタン」を押し5分間以上アルカリ性の水または浄水を放流してください。内部にたまった空気を抜くためです。

空気が残っていると、水の切れが悪くなります。

⚠ 注意

放流を開始したら、ワンタッチジョイント接続部から水漏れがないことを確認してください。

もし水漏れがありましたら「出／止ボタン」を押し水を止めて、21ページの「浄水カートリッジの交換手順」②、③、⑤、⑥、⑧の作業を再度おこなってください。

水漏れが直らない場合は、止水栓付電磁弁の調整ノブまたは給水用止水栓（6・9・10ページイラスト参照）を時計方向に回して閉め、販売店か弊社お客様相談窓口へご連絡ください。



⑨ 交換作業の終了

5分間以上の放流を終わりましたら浄水カートリッジの交換は完了です。



必ずお守りください



古いカートリッジの処分方法

使い終えた浄水カートリッジと保護キャップは不燃物ですので必ず生ゴミとは区別して処分してください。

※浄水カートリッジは、プラスチック・ゴム・活性炭等の材料で出来ています。

異常作動への対応

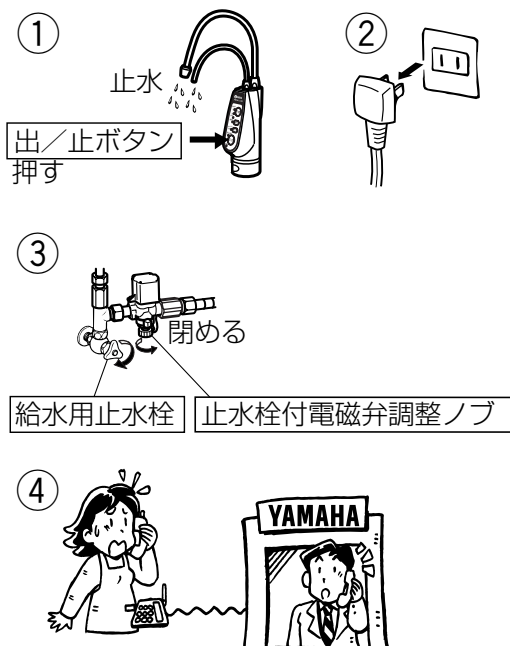
⚠ 警告



ピッピッピッピッピッと5回づつ警告音が断続的に鳴り続け、操作部の「アルカリランプ」「浄水ランプ」「酸性水ランプ」が同時に点滅したら、ただちに操作を停止して電源プラグを外す。

異常が発生しています。

操作停止手順



①「出/止ボタン」を押し水を止めます。

②電源プラグを外します。

③止水栓付電磁弁の調整ノブを時計方向に回して閉めます。
水漏れの無いことを確認してください。

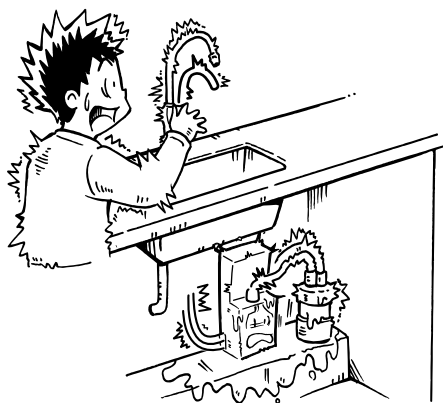
※電磁弁から水漏れしている場合は、給水用止水栓を時計方向に回して閉め、水漏れの無いことを確認してください。

④お買い求めの販売店、または弊社お客様相談窓口まで、すみやかにご連絡ください。

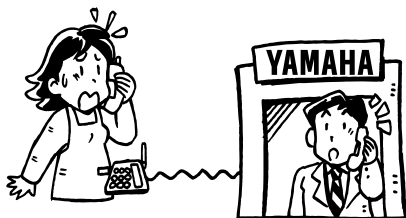
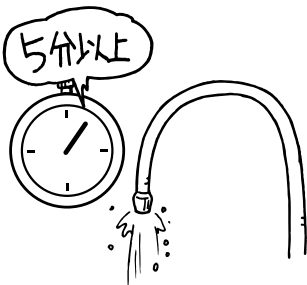
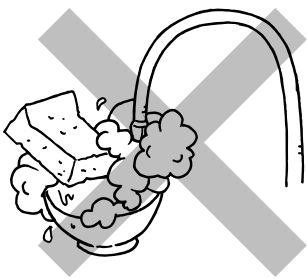
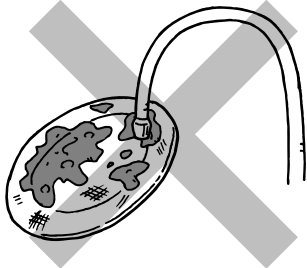
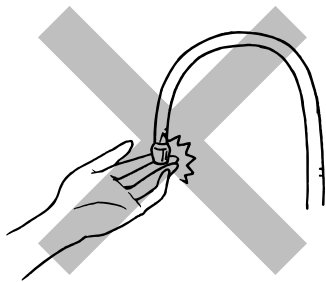
連続警告音が鳴っている状態では、絶対に使わない。

使い続けると、感電やショートまたは水漏れ発生のおそれがあります。

- ピッピッピッピッピッと5回づつ警告音が断続的に鳴り続ける場合は、電気回路の異常や電解槽内部で水漏れが発生しています。



浄水機能を維持するために



1 取り扱い上のご注意

- 吐水口先端をいつも清潔に保つ為、手でさわったり口をつける様な事はしないでください。

清潔を維持しないと、水垢発生等の原因になる場合があります。



必ずお守りください

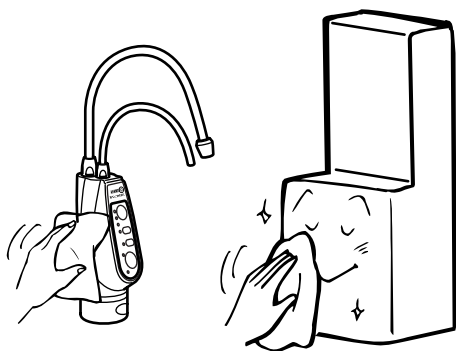
食器の残り物や洗剤等、誤まって吐水口先端に汚れが付いてしまった場合は、最初に外側の汚れを取り除き、次に水を3分以上流して吐水口の内側を通水洗浄し、最後の仕上げに吐水口全体を水道水で洗い流してからご使用ください。

2 長期間ご使用にならない場合のご注意

1. 本器を約1週間以上使用しない場合は、下記の項目を実施してから再使用してください。

- ① 再使用初めに酸性水を5分以上放流して中を洗浄し、臭いや水垢の吐出がないことを確認してください。
- ② 臭いや水垢吐出等の異常を感じた場合は、保管中に中に溜まっていた水が悪くなったおそれがありますので、浄水カートリッジを交換してください。
- ③ 浄水カートリッジを交換しても臭いや水垢の吐出が止まらない場合は、お買求めの販売店にご依頼ください。

お手入れ方法



専用水栓・電解槽のお手入れ

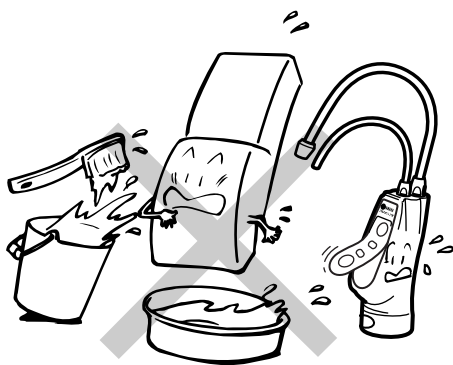
水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れを拭き取ってください。



• ひどい汚れの場合

中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布で汚れを拭き取り、その後、乾いた布で仕上げてください。

⚠ 警告



電解槽および浮きや剥れの生じた専用水栓の操作部には、直接水をかけたり水につけたりしない。

感電・ショートのおそれがあります。

専用水栓の操作部に浮きや剥れが生じた場合は、お買い求めの販売店か弊社お客様相談窓口へ連絡し、修理してください。

⚠ 注意



みがき粉、金属タワシ・酸性・アルカリ性洗剤やシンナー等は、使用しないでください。

キズやサビが発生したり、樹脂部分を傷める場合があります。

故障かなと思ったら

本機に異常が生じたときは、次の点をお調べください。それでも正しく作動しないときは、お買い求めの販売店または弊社お客様相談窓口へご相談ください。

故障・破損・変形をしたままでの使用はしないでください。

現 象	推定原因	対応方法	参照頁
専用水栓の操作部ランプが点灯せず、「出／止ボタン」を押しても、音も水も出ない	①電源が入っていません。 ②専用水栓と電解槽の接続不良です。	①電源を入れてください。 ②専用水栓と電解槽の接続コネクタを一を、確実に接続してください。	P6 P9
専用水栓の操作部ランプは点灯し、「出／止ボタン」を押すと音は出るが、水が出ない	①断水中です。 ②止水栓付電磁弁の調整ノブが閉じています。 ③専用水栓と止水栓付電磁弁の接続不良です。 ※水が出ない状態が30秒間続くと、自動的に止水状態に戻ります。	①水が出るまでお待ちください。 ②止水栓付電磁弁の調整ノブを反時計方向に回して流量を増やし、「適性流量ランプ」を点灯させてください。 ③専用水栓と止水栓付電磁弁の接続コネクタを一を、確実に接続してください。	P6 P9～10
「出／止ボタン」を押してもあまり水が出ない	①配管ホースが折れたりつぶされています。 ②止水栓付電磁弁の調整ノブが締めすぎみです。 ③浄水カートリッジが目詰まりすぎみです。 ④止水栓付電磁弁部のストレーナーが詰まっています。	①配管ホースを直してください。 ②止水栓付電磁弁の調整ノブを反時計方向に回して流量を増やし、「適性流量ランプ」を点灯させてください。 ③浄水カートリッジを交換してください。 ④お買い求めの販売店が弊社お客様相談窓口へご連絡ください。	P6 P10 P21～24 裏表紙
「出／止ボタン」を押して止水した直後に、続けて「出／止ボタン」を押して吐水しようとしても水が出ない	止水栓付電磁弁保護の為、止水直後の1秒間は吐水操作が受付られません。	止水した後1秒間待ってから、吐水操作をおこなってください。	P10 P13 P17
「出／止ボタン」を押して止水しても、水がすぐに止まらない	①浄水カートリッジに加わる水圧や空気が徐々に抜ける元止め式水栓のためです。 ②自動洗浄機能が作動し、電気分解で発生した気泡が滞留水を押し出すためです。 ③浄水カートリッジの空気抜きが不十分です。 ④浄水カートリッジが詰まってきたためです。	①故障ではありませんので、そのままお使いください。 ②点灯していた「洗浄中ランプ」が消えるまで、約1分間お待ちください。 電気分解による気泡の発生が止まるため止水します。 ③5分以上連続通水し、空気抜きをおこなってください。 ④浄水カートリッジを、交換してください。	P10～11 P14 P21～24

故障かなと思ったら

現 象	推定原因	対応方法	参照頁
「出／止ボタン」を押しても、水が止まらない	止水栓付電磁弁や電気回路の故障です。	①電源プラグを外し、止水栓付電磁弁の調整ノブを時計方向に回して締めます。 それでも止まらない場合は、給水用止水栓を時計方向に回して締め、使用を停止してください。 ②お買い求めの販売店か弊社お客様相談窓口へご連絡ください。	P9 P25 裏表紙
連続して30分ぐらい水を出し続けていたら、急に水が出なくなった	連続して吐水した場合、30分後に止水忘れ防止機能が働き自動的に止水されます。	続けて使用する場合は、再度吐水操作をおこなってください。	P11 P13 P17
カルキ臭やいやな味がする	浄水カートリッジの寿命です。	浄水カートリッジを交換してください。	P21～24
通水中に「適正流量ランプ」が不規則に点滅したり消灯している	①通水流量が多すぎます。 ②通水流量が少なすぎます。	①止水栓付電磁弁の調整ノブを時計方向に回して流量を絞り、「適正流量ランプ」を点灯させてください。 ②止水栓付電磁弁の調整ノブを反時計方向に回して流量を増やし、「適正流量ランプ」を点灯させてください。	P10
毎回使用始めにピッピッと2回音が鳴り、「カートリッジ交換ランプ」が2秒間点灯する	浄水カートリッジ交換時期近のお知らせです。	交換用浄水カートリッジをご手配ください。	P20
毎回使用始めにピッピッピッと3回音が鳴り、「カートリッジ交換ランプ」が常時点灯している	浄水カートリッジ交換時期のお知らせです。	浄水カートリッジを交換してください。	P20
浄水カートリッジを交換しても毎回使用始めに音が鳴り、「カートリッジ交換ランプ」が点灯している	浄水カートリッジ交換後のリセットボタン押し忘れか、押し時間の不足です。	「カートリッジ交換ランプ」が消灯するまで、リセットボタンを1秒間以上押し続けてください。	P20
止水後に「洗浄中ランプ」が一定時間点灯する（1分間）	性能を維持するため、電極を自動的に洗浄中です。	「洗浄中ランプ」が消灯するまで約1分間待ち、使用始めに洗浄水を排水する警告音（9秒間）が鳴り止んでから使用してください。	P14
使用始めにピーピーピー…と音が一定時間鳴る（9秒間）	①「洗浄中ランプ」が点滅している場合は、電極洗浄後の洗浄水を排出している警告音です。 ②「酸性水ランプ」が点滅している場合は、酸性水使用直後にアルカリ性の水や浄水を使う場合、配管内に残った酸性水を排出している警告音です。	ピーピーピー…という警告音が鳴り終わるまで約9秒間待つてから、使用してください。	P12 P14 P16
使用中にピーピーピーピーと5回音が鳴り、「浄水ランプ」が点滅する	連続又は積算した使用時間が8分になり、電解保護の為、電解を停止したお知らせです。（水は浄水に切り換わります。）	①「出／止ボタン」を押して止水し、約5分間お待ちください。 ②5分後に電解部保護が完了したら、通常通り使用できます。	P15～16

故障かなと思ったら

現象	推定原因	対応方法	参照頁
使用始めからピーピーピー…という音が鳴り続け、「酸性水ランプ」が点滅する	酸性水を使っている間は間違っても飲まない様に警告音が鳴り続け、「酸性水ランプ」が点滅します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	P13
ピッピッピッピッと5回づつ警告音が断続的に鳴り続け、使用しなくても「アルカリ/浄水/酸性水ランプ」が同時に点滅する	電気回路の異常や、電解槽内部の水漏れ発生です。	①電源プラグを外し、止水栓付電磁弁の調整ノブを時計方向に回して締めます。 もし、止水栓付電磁弁から水漏れしている場合は、給水用止水栓を時計方向に回して締め、使用を停止してください。 ②お買い求めの販売店が弊社お客様相談窓口へご連絡ください。	P25 裏表紙
アルカリ性の水や酸性水が白く濁る	電解による泡や空気の混入です。	①放置すると徐々に消え、澄んできます。 ②無害ですのでそのままご使用ください。	—
pH値が規定値にならない	①通水流量が多すぎます。 ②通水流量が少なすぎます。 ③水道水が若干酸性側かアルカリ側の水です。 ④水質（遊離炭酸）の影響で、見かけ上のpH値が上がりにくいです。	①止水栓付電磁弁の調整ノブを時計方向に回して流量を絞り、「適正流量ランプ」を点灯させてください。 ②止水栓付電磁弁の調整ノブを反時計方向に回して流量を増やし、「適正流量ランプ」を点灯させてください。 ③水道水のpH値とイオン水のpH値を相対比較し、差し引いた値でpH値が出ている事を確認してください。 ④アルカリ水を5分間煮沸し、遊離炭酸を除去した後に測定してください。	P10 P18~19
専用水栓や配管部から水が漏れる	接続部の緩みやパッキン等の劣化です。	①電源プラグを外してから、水漏れ近辺の配管ジョイント部やホース取付け部を締め直してください。 ②水漏れが止まらない場合は、止水栓付電磁弁の調整ノブを時計方向に回して締めます。 もし、止水栓付電磁弁から水漏れしている場合は、給水用止水栓を時計方向に回して締め、お買い求めの販売店が弊社お客様相談窓口へご連絡ください。	P9~10 裏表紙
アルカリ性の水、酸性水や浄水の中に異物や浮遊物が混ざる	①水質により、長時間使用の間にミネラル成分や水垢が徐々にたまり、異物や浮遊物として吐出する場合があります。 ②長期間未使用後に再度使用すると、中で悪くなった滞留水と共に生じた水垢が、異物や浮遊物として吐出する場合があります。	①5分以上連続放流し、内部を洗浄してからご使用ください。 ②異物や浮遊物の吐出が止まらない場合は、お買い求めの販売店が弊社お客様相談窓口へご連絡ください。	P26 裏表紙

保証とアフターサービス

保証書

万一不具合がございました際には、無料修理規定に従ってご購入日より保証書記載の期間、無料修理させていただきます。

保証の概要

1. 保証の範囲と保証期間

お買上げの日から1年間、本製品の瑕疵は無償保証致します。

瑕疵とは：お引き渡しまでの間に見い出せなかった欠点により、本製品が本来備えているべき性能を発揮しない場合を指します。

2. 保証内容

取扱説明書、ラベル等の注意事項に従った正しい使い方での故障した場合には、無料修理致します。

3. 免責事項

次の事項に該当する場合は、免責とさせていただきます。

保証期間内でも、次の場合には有料修理になります。

(イ) 使用上の誤りや、不当な修理および改造による故障および損傷。

(ロ) お買上げ設置後の取り付け場所の移動（移設）がおこなわれたときの故障および損傷。

(ハ) 火災、地震、水害、落雷、塩害、その他天災地変、公害、異常水圧、異常水質、などによる故障および損傷。

(ニ) 不適当な配管、取り付け、組立、その他施工上の誤りによる故障および損傷。

(ホ) 温泉水、井戸水、地下水の使用および硫化水素の強い場所、屋外（長時間直射日光にさらされる場所）又は、これに準ずる場所で使用した場合の変色、錆。

(ヘ) 本製品以外の不具合に起因する故障および損傷。

(ト) 業務用への使用。車両船舶への搭載、その他一般家庭以外に使用された場合の故障および損傷。

(チ) **消耗部品の交換。**

消耗部品：浄水カートリッジ、パッキン類

(リ) 保証書の提示がない場合。

(ヌ) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは、弊社又は販売店以外が字句を書き換えられた場合。

(ル) 水質に起因し、所定のpH値が得られない場合。

(注) 上記によりがたい場合は、その都度相談のうえ決めさせていただきます。

保証とアフターサービス

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年間保有しております。
販売店からの注文により、補修用性能部品を供給致します。
(注) 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

修理の際の連絡先

この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検していただき、異常のある時は販売店または弊社お客様相談窓口までお申し出ください。

■お買い求めの販売店と連絡方法は、裏表紙便利メモに記入しておくとう便利です。

■弊社お客様相談窓口は、裏表紙の一覧表をご覧ください。

連絡内容

■ご住所 ■ご氏名 ■電話番号 ■商品名 ■ご購入日

■故障内容（どこの、なにが、どの様になった）

廃棄処分される場合のお願い



必ずお守りください

本製品を廃棄処分される場合は、許可を受けている処分業者に処理を依頼してください。

詳しくは、販売店へご相談ください。

主な仕様

型式		OH-A22Y	
種類		Ⅱ形	
専用 水栓	品番	XFD-53150-50	
	取付孔	φ38	
	安全装置	逆止弁（止水栓付電磁弁と一体型）	
電解 槽	定格	AC100V1.2A 50/60Hz	
	消費電力	約73W	
	待機時消費電力	約3W	
	本体寸法	138mm(幅)×94mm(奥行)×390mm(高さ)	
	乾燥重量	約2.0Kg	
	使用可能な最小動水圧	0.069MPa（約0.7kgf/cm ² ）	
	電解能力切換	アルカリ電解強度：2段階設定 酸性電解強度：固定	
	pH値	アルカリ性の水：pH7.5～9.2（水質により異なります）	
		酸性水：pH5.0～6.9（水質により異なります）	
	連続使用可能時間	約8分（水質状況により8分以上使用出来る場合があります）	
電源コード長さ	0.9m		
電源保護装置	ガラス管ヒューズ：5.0A		
浄水 カートリッ ジ	浄水カートリッジ品番	JC-301	
	ろ材の種類	不織布、活性炭、中空糸膜、イオン交換樹脂	
	除去対象物質	遊離残留塩素（カルキ臭）、濁り（鉄配管内の赤さびや水中の各種濁り） 総トリハロメタン、CAT（農薬成分）、溶解性鉛	
	ろ過流量	2.5ℓ/分（水圧0.1MPa {約1kgf/cm ² } 20℃時）	
	浄水 能力 注1)	遊離残留塩素	総ろ過水量40,000ℓ（除去率80% JIS S 3201試験結果）
		濁り	総ろ過水量18,000ℓ（ろ過流量50% JIS S 3201試験結果）
		総トリハロメタン	総ろ過水量7,300ℓ（除去率80% JIS S 3201試験結果）
		CAT（農薬）	総ろ過水量7,300ℓ（除去率80% JIS S 3201試験結果）
		溶解性鉛	総ろ過水量7,300ℓ（除去率80% JIS S 3201試験結果）
	浄水カートリッジ取換時期の目安	12ヵ月（1日20ℓ使用の場合）	注2)
	毎日使い始めの放流時間	30秒以上	
	浄水カートリッジ寸法	φ101mm×183mm	
	浄水カートリッジ重量	約540g（未使用時）	
除去できない成分	水の中に溶け込んでいる溶解性鉛以外の金属イオン、塩分 0.1ミクロン（1/10,000ミリメートル）以下の粒子等		
使用水温	1℃以上35℃未満		

※単位は、国際単位を採用。

※硬水を軟水に変えることは出来ません。

※この商品は上水道専用です。井戸水には使用できません。

注1) アルカリ性の水、酸性水、浄水で使用出来る水は、ろ過流量・ろ過能力の約75%相当になります。

注2) 除去対象物質によって浄水カートリッジの取換時期は異なります。

また、使用水量、水質、水圧によって取換の目安が異なったり、短くなることがあります。

※本製品は医療用認証品ではありません。

発売元



YAMAHA

YAMAHA LIVINGTEC CORPORATION

お客様相談窓口



商品についてのご相談



0120-808194



修理のご相談



0120-119555

●受付時間／月曜～金曜 9:00～18:00 土曜・日曜・祝日 9:00～17:00 ●受付時間／月曜～金曜 9:00～18:00 土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

お電話は、内容確認とサービスの向上等を目的として、保存(録音)させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<http://www.yamaha-living.co.jp>に公表してあります。

ヤマハリビングテック株式会社

〒432-8001 静岡県浜松市西山町1370

製造元



YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500